

## 第66回基本方針策定タスク 議事録

1.日 時：令和2年6月8日（月） 13:30～15:30

2.場 所：日本電気協会 4階 C, D会議室（Web会議併用）

3.出席者：（順不同，敬称略）

出席委員：阿部主査(NUSC 幹事/東京大学)\*，越塚(NUSC 委員長/東京大学)，高橋(NUSC 副委員長/電力中央研究所)，波木井(NUSC 委員/東京電力 HD)\*，山田(構造分科会幹事/中部電力)\*，山内(原子燃料分科会幹事/東京電力 HD)\*，牛島（安全設計分科会幹事/関西電力)\*，渡邊(品質保証分科会幹事/原子力安全推進協会)，白井(耐震設計分科会幹事/原子力エネルギー協議会)\*，大浦(放射線管理分科会幹事/日本原子力発電)\*，大平(運転・保守分科会幹事/日本原子力発電)\*，都筑(日本電気協会)\* （計12名）

事務局：三原，須澤，小平，岸本，小幡，平野，葛西，寺澤，境，田邊(日本電気協会)（計10名）

\*:Web参加

### 4.配付資料

資料66-1	原子力規格委員会 基本方針策定タスク 委員名簿
資料66-2	第 65 回基本方針策定タスク 議事録（案）
資料66-3-1-1	Web システムを使用した委員会の運営要領（案）
資料66-3-1-2	Web システムを使用した委員会の開催に関する書面審議における意見対応について
資料66-3-1-参考1	日本電気協会 原子力規格委員会規約との比較
資料66-3-1-参考2	Web 会議に関する質問回答時のご意見への対応について
資料66-3-1-参考3-1	Web 会議における決議方法の比較
資料66-3-1-参考3-2	Web 会議における決議方法例
資料66-3-1-参考4	Web 会議に関する質問の回答概要まとめ
資料66-3-2	2020 年度 原子力規格委員会の開催時期について
資料66-3-2-参考1	原子力規格委員会 付議案件リスト 6，9 月度
資料66-4-1	第 11 回新規要件に関する事業者意見の聴取に係る会合(技術評価優先順位)について
資料66-4-1-1	令和 2 年度 第 2 回原子力規制委員会
資料66-4-2	学協会規格に関する今後の事業者の取り組みについて 2020 年 3 月 26 日電気事業連合会
資料66-4-3-1	JEAC4206-2016「原子炉圧力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法 他 1 件の技術評価対応状況について
資料66-4-3-1-1	日本電気協会との情報交換に係る面談
資料66-4-3-1-2	破壊靱性の技術評価に関する日本電気協会との面談
資料66-4-4	JEAC4206-2016 技術評価状況に係るご質問への対応について
資料66-4-5	検査制度の見直し等に伴う規格の制・改定の状況について（報告）
資料66-4-6	2020 年度各分科会活動報告
参考資料 1	第 73 回原子力規格委員会 議事録（案）
参考資料 2	2019 年度活動実績及び 2020 年度活動計画（案）
参考資料 3	原子力規格委員会 活動の基本方針（案）
参考資料 4	2020 年度各分野の規格策定活動（案）

## 5.議事

事務局から、本会にて、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触するおそれのある活動を行わないことを確認した。また、今回のタスク会議は、Web 会議併用で進めることを説明し、議事が進められた。

### (1) 定足数確認他

事務局から、資料について事前送付していることを説明した。出席委員は、Web 参加が 9 名、会場参加が 3 名の計 12 名で、決議に必要な条件(委員総数の 3 分の 2(8 名)以上の出席)を満たしていることを確認した。

### (2) 前回議事録確認

事務局から、資料 66-2 の前回議事録については、事前に配布し確認していただいている旨説明があり、承認された。

### (3) 審議事項

#### 1) Web システムを使用した委員会の開催に関する運用について【議論】

事務局から、資料 66-3-1-1 及び資料 66-3-1-2 に基づき、Web システムを使用した委員会の開催に関する運用について説明があった。

議論の結果、Web 会議の運営要領等について、本案で次回原子力規格委員会に提示することが了承された。

#### (説明内容)

- ・本運営要領は、新型コロナ対策として、web 会議を導入するにあたって運営方法をまとめたものである。
- ・Web 会議での決議の方法については、個別発言、画面確認、挙手機能、チャット機能及び投票機能があるが、参加者の Web 機能により使い分けることとする。
- ・本要領は、コロナ対応としての暫定的な運用であり、規約に反映するのではなく、規約の解説としての位置付けになるものと考えている。
- ・本件については、6 月 22 日の原子力規格委員会の冒頭で説明する予定。

#### (主な意見・コメント)

- ・ここで書かれている長時間にならないようにと言うのはどのような意味合いで書いてあるのか。  
→Web での会議は、参加者の負担感があるということで、当初は 2,3 時間との記載を考えていたが、3 時間では会議が終わらない場合もあるので、このような記載とした。また、案件数により会議は複数回 Web 会議を実施する。
- ・複数回に分けるとスケジュールの確保が難しくなるような気がするが。  
→短時間にして、議論した方が効率も良いと考えている。Web 会議では細切れの議論が入ってくるので、会議自体を細かく分けた方が集中的に議論できるものと考えている。
- ・今後も工夫をしていくと言うことで理解した。  
→タスク側で Web 会議に対するアイデアを出していき、原子力規格委員会に提案していく形になるので、皆さんここ数か月 Web 会議を使った結果で良い意見があれば提案してほしい。
- ・Web 会議では、出席者が分かるように事務局でまず出席者を紹介し、それから会議を進める方が良い。
- 発言者以外は、マイクのミュート、画像を OFF とする。(システムの負担を下げるため。)
- ・今まで、新型コロナウイルスの影響で暫定的に Web 会議を実施してきたが、かなり有効だと考えており、大きな会議は無理かもしれないが、小さな会議では恒常的に Web 会議を取り入れても良いと考える。
- 今回は暫定的に Web 会議を考えているが、実施方法、電気協会側の設備が整ったところで、規約を改定して恒常的に取り入れていこうと考えている。
- ・Web 会議を恒久的に使用するような場合においても、顔合わせをするようなことも検討すべ
- ・Web での決議方法については、今回試したが、各々特性があるので、一概には決められない。従

って、今後運用してみて、その都度確認していくこととしたい。

## 2) 2020 年度原子力規格委員会の開催時期について【議論】

事務局から、資料 66-3-2 に基づき、2020 年度原子力規格委員会の開催時期について説明があった。議論の結果、原子力規格委員会開催時期について了承された。

(説明内容)

- ・原子力規格委員会に Web 会議を採用するにあたり、その開催時期を検討した。
- ・会議の時間配分は、1 議題あたり 50 分として設定しており、1 回の会議で 2 から 3 議題実施する。このため、議案数によって、複数回の実施となる。
- ・本件については、6 月 22 日の原子力規格委員会で説明する予定。

(主な意見・コメント)

- ・特になし

## (4) 報告事項

### 1) 第 11 回新規制要求に関する事業者意見の聴取に係る会合（技術評価優先順位）について【報告】

事務局から、資料 66-4-1 に基づき第 11 回新規制要求に関する事業者意見の聴取に係る会合（技術評価優先順位）について報告があった。

(説明内容)

- ・令和 2 年 4 月 8 日に令和 2 年度第 2 回原子力規制委員会が開催された。
- ・令和 2 年度の技術評価対象として、JEAC4203-2017, JEAG4217-2018, JEAC4207-2016 が対象となり、今後の技術評価候補として、JEAC4615-2020 が選定された。
- ・発刊後、技術評価要否を検討する対象として、JEAC4201, JEAC4111, JEAC4601 が挙げられ、このうち JEAC4201 については、発刊後早期に実施することとなった。
- ・JEAC4111 については、技術評価の対象ではないと考えるとの記載があるが、明確に対象から外されたという意思表示があったわけではない。

(主な意見・コメント)

- ・JEAC4111 で良好事例という説明は、電気協会からは一度もしていないので、正しい理解をしてもらうように、規制庁にもう一度説明したいと考える。
- ・NRA のコメントに対して、規格委員会でも改めて検討をする必要があるということか。
- 6 月 29 日の規格委員会で、JEAC4111 の上程案を示すので、この中で構成、基本要件事項等を示して説明する予定であり、その中で良好事例という言葉は使っていないことを確認いただける。

### 2) 学協会規格に関する今後の事業者の取り組みについて【報告】

事務局から、資料 66-4-2 に基づき、学協会規格に関する今後の事業者の取り組みについて報告があった。

(説明内容)

- ・資料 66-4-2 は、電事連資料であり、この内容に沿って、見直しを図られると聞いている。
- ・規格対応については、これまで JANSI が実施してきた規格業務を事業者が実施することになる。
- ・規格に対する事業者ニーズ・優先順位を検討し、学協会説明後、事業者のリソースを配分する。
- ・今後、規格については、電事連が全体とりまとめを行い、規格毎に担当会社を割り当てる。規格作成業務は担当会社が実施することになる。

(主な意見・コメント)

- ・補足すると JANSI の部分がなくなっている図となっているが、JANSI 内での組織変更も関連するものと考えており、今後の関係性の詳細は、まだよくわかっていない状況である。

- 電事連の動きとして、規格のニーズをより正確につかんで、規格の統廃合も含めて提案したいという意向がある。したがって、事務局としては、規格の体系化も含めて、今後大きな話題となるとの認識で、電事連と情報交換していきたい。
- ・影響が大きな話であると思うが、タスク委員においては、このような話があることをご認識いただければと思う。

### 3) JEAC4206-2016 技術評価対応状況について【報告】

委員から、資料 66-4-3-1 に基づき、技術評価会合に関する対応状況について報告があった。

(説明内容)

- ・JEAC4206-2016 の検討チーム会合を過去 5 回実施したが、第 6 回検討チーム会合を Web 会議で実施することで調整中。

(主な意見・コメント)

- ・第 6 回会合の予定は決まっているのか。
- まだ NAR からは連絡が来ていない。

### 4) JEAC4206-2016 技術評価状況に係るご質問への対応について【報告】

委員から、資料 66-4-4 に基づき、JEAC4206-2016 技術評価状況に係るご質問への対応について報告があった。

(説明内容)

- ・現在実施中の JEAC4206-2016 技術評価について、4 月 28 日に質問が来て、回答を 5 月 19 日に実施した。この回答について 5 月 27 日に再度質問が来た。
- ・連絡趣旨としては、技術評価会合に係る質問は、改めて書面で回答する性格ではないとして、質問者に連絡した。基本的に、技術評価に係る部分については、改めて文章で電気協会としては対応しないという方向とする。
- ・技術的な質問に関しては、現在の規格の誤りに繋がるようなものではないことを、検討会メンバーで確認している。
- ・再度の質問(5/27 付)に対しては、技術評価の状況も踏まえて、質問者に連絡していく。
- ・この内容については、7 月 6 日の規格委員会で報告する予定である。

(主な意見・コメント)

- ・質問者に対して技術的内容の説明をすることはできるのか。
- 質問の内容確認は既にできていて、破壊靱性検討会の主要メンバー及び分科会長、幹事で確認済み。
- 第 5 回までの技術会合の資料作成状況、規制庁への説明状況を反映し、検討会としては取りまとめ終わっている。最終的には第 6 回技術会合の結果、規制庁からの見解を反映する。- ・質問者は、関連する資料は受取っているのか。

→ 質問者は検討会に出席しており、検討会で配布した資料は見ている。また、出席された検討会の配布資料はコピー請求依頼を受け提供している。

  - ・今回の質問は、質問者がまったく受け取っていない資料のものではないのか。

→ 既に入手している資料の中のものである。- ・今度の原子力規格委員会で説明して、何を決めようとしているのか。

→規約に基づき、今回の回答の趣旨などについて報告し、ご意見を伺う。- ・同じ質問を、電気協会として公開となっている資料に基づいて出してきた場合は、今回の回答は違ってくるのか。

→規格委員会で審議したような資料に対して、質問したのであれば技術的な回答はしなければならないと考える。- ・本件、規制庁とは情報共有できているのか。

→ 今度の原子力規格委員会には、常時参加者として NRA 職員も参加するとの連絡を受けているの

で、その時に正式に渡すことになる。

- ・質問者へ回答する場合には、規制庁への情報提供の時期を勘案の上、実施すべきと思う。
  - ・技術的内容については、分科会、検討会で確認しており、問題のないことも伝わった方がいいと思う。
- 技術評価の状況を勘案の上、最終的な見解については、分科会、検討会で正式に審議するなどの手続きをどうするか検討することも必要と考えている。

#### 5) 検査制度見直し等に伴う規格の制・改定の検討状況について【報告】

委員から、資料 66-4-5 に基づき、検査制度見直し等に伴う規格の制・改定の検討状況について報告があった。

(説明内容)

- ・従来のフォームでは、電事連提示期限欄があり「新検査制度まで」等の記載を行ってきたが、新検査制度が開始されたことから、本欄を削除した。

(主な意見・コメント)

特になし

#### 6) 2020 年度各分科会活動報告【報告】

委員より、資料 66-4-6 に基づき、各分科会活動報告が行われた。トピックとしては、以下の通り。

##### a.安全設計分科会：

- ・JEAC4620, JEAG4609 については、公衆審査をコメントなしで終了し、発刊準備。

##### b.構造分科会：

- ・第 59 回分科会を実施し、JEAC4207-20XX の審議を行い、現在書面投票実施中。(6 月 11 日締切り)
- ・JEAC4201-20XX に対する分科会による意見伺い実施中 (6 月 21 日締切り)

##### c.原子燃料分科会：

- ・「発電用原子燃料の製造に係る燃料体検査規程」について、公衆審査をコメントなしで終了し、発刊準備。

##### d.品質保証分科会：

- ・JEAC4111 は大幅改定となっていることから、特別講習会を考えており、実施の可否、実施方法に関して、日本電気協会の方針的なものがあれば提示して欲しい旨の依頼があった。

##### e.耐震設計分科会：

- ・JEAC/G4601 の改定時期は、コロナの影響により大幅に遅延することが予想される。
- ・JEAC4629-20XX は一旦、書面投票で可決されたが、編集上の修正範囲を超える修正が生じたので再審議に向けて検討中。

##### f.放射線管理分科会：

- ・「個人線量モニタリング指針」を年度内に改定予定。同規格の事業者分担を見直し中であり、引継ぎも含めて、改定作業を進めていく。

##### g.運転・保守分科会：

- ・JEAC4804「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」については、今回のコロナの対応を踏まえ、しばらく長期的になるとの想定から、web 等を使っての判定を行うという内容等の改定を検討中。

#### (5) 次回のタスク予定について

次回タスク（本会議）	：9 月 9 日（水） 9 時 30 分～	電気協会	C 会議室（WEB 会議併用）
事前説明	：8 月 18 日（火）13 時 30 分～	電気協会	C 会議室（WEB 会議併用）

以 上